

ACP 研修会報告書

テーマ	「今、知りたい。就労支援」	
開催日時	平成29年12月9日(土) 15:00～17:00	
開催場所	針生ヶ丘病院 4階	
参加者	21名	
研修会内容	<p>①講義 「NPO 法人アイ・キャン 多機能型支援事業所「コラッジョ」の就労支援」 NPO 法人アイ・キャン 佐々木 治彦 氏</p> <p>②講義 「就業・生活支援センター ふっとわーく について」 社会福祉法人 ほっと福祉記念会 ふっとわーく 木村 美和 氏</p> <p>③フリートーク(意見交換)</p>	
意見交換	<p>Q. 就業・生活支援センターに具体的にどう相談するとよいか？</p> <p>A. 地域の相談支援事業所に連絡を入れてもらう。またはワーカーから連絡を頂けると良い。 本人がどのような働き方を望んでいるのか、アセスメントを元に相談いただきたい。</p> <p>Q. 医療機関からの繋ぎ方をどうしたらよいか？</p> <p>A. 病院内で本人のお話を伺いニーズが何かを固めてから相談いただけるとよい。本人の希望がしっかりある事が前提。本人の希望に基づき就労形態の選択もできる。</p> <p>Q. それ以外に医療機関に望むことは何か？</p> <p>A. 医師意見書の就労能力の記載内容と現状が異なることがある。医師にも職場を知ってもらえるとよいと思う。実際にどう本人を支えていったらよいのかまでの記載を頂けると良い。 本人の希望と医師の見立て、病院と地域で温度差があるように感じる時がある。</p> <p>Q. ワーカーがどのような動きをすることで支援が容易になるか？</p> <p>A. 本人の病状や就労に対する希望など、ワーカーから情報をもらえると支援がスムーズ。</p> <p>Q. ハローワークとふっとわーくの使い分けは？</p> <p>A. ハローワークは仕事の紹介ができる場所。ハローワークからふっとわーくに相談が入ることもある。ふっとわーくではクローズの方への支援も行っている。</p> <p>Q. 企業側の動きや雇用率はどうか？</p> <p>A. 現在の動きとしては、清掃関係よりサービス系が中心になってきている。今ある求人に沿った内容の支援がしていけると良い。本人のどこをサポートするか、どういう支援があると良いかが重要。</p> <p>Q. 定着できる方と出来ない方の違いは？</p> <p>A. 仕事はできるが人間関係で躓く方が多い。挨拶など基本的な事ができる、自分のことを見つめられる方だと定着しやすいように思う。</p>	 

	<p>→その他</p> <p>「医療機関だけでは、本人がどこまで仕事ができるのかの判断が難しい」「連絡が取り合える環境が常にあると良い。」「力がある方だと、ワーカーを介さず本人自身でアクセスする方もいる」「支援者がいてメリットになるのか、支援体制がどれだけ必要な方なのかのアセスメントも必要」などの意見交換がなされた。</p>
<p>感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・“ざっくばらんな話”はすごくためになります。 ・今後とも宜しくお願い致します。 ・就労支援について各機関の役割や連携の在り方について理解することができました。色々と各機関からの意見をきくことができとても有意義な研修会でした。ありがとうございました。 ・今回参加させていただいてありがとうございました。このような交流できる場が今後もあると顔合わせになり、ネットワークが広がりやすいと思うので機会があればまた声かけて頂ければと思います。(相談支援事業所と医療の連携について話せると良い。) ・働くことを考え直すことができました。 ・フリートークが参考になりました。 ・各病院や各事業所を実際見学して情報交換等していきたいです。 ・それぞれの課題(現状)について話し合えたのは良かったと思います。 ・医療機関との連携の仕方や、医療機関側でできることなど情報交換することができて良かった。丁寧なアセスメントを心がけていきたいと思った。 ・ふっとわーく、就労支援事業所との意見交換会はぜひ第二弾をしてほしいです。つなぐポイントが分かって良かった。ネットワークつくりたいですね。 ・今後の業務に活用していきたいと思います。貴重なお話を伺えて良かったです。 ・ざっくばらんに話せるのはいいと思います。 ・具体的な話を聞くことができて良かったです。



記録：寿泉堂松南病院 長谷川 未紗